

團藤文庫の中に受講ノートや講義ノートの類は少ないが、その一つに團藤が東京帝国大学法学部二年次(昭和8年度)に受講した中田薫「西洋(獨逸)法制史」講義のノートがある。日本における法制史学の最重要人物の一人である中田は講義録等を残さないことで有名であり、西洋法制史についても講義の内容を知るには私家版の所謂「講義ノート」の類に頼る他はなく、またその数も多いとは言えない。本ノートは、その完成度の高さと書き込みの豊富さことから、当時の東京帝国大学における西洋法制史講義の実態に迫真するものと言え、とりわけ法制史教育史という文脈において重要な位置を占めると共に、一「学生」としての團藤の実像を知るための数少ない素材としてもきわめて有益である。